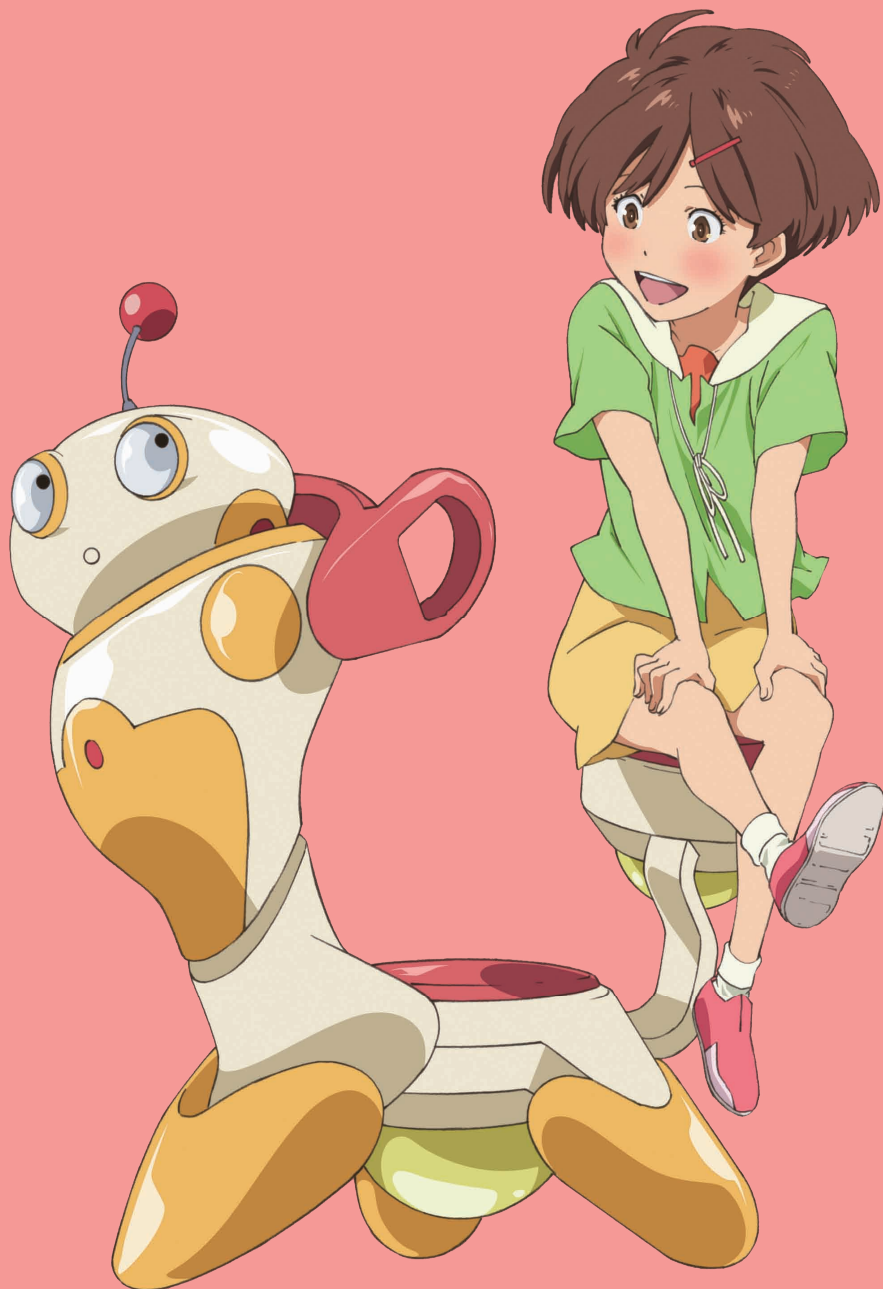


ロボットと美術

機械 × 身体 の ビジュアルイメージ

青森県立美術館



会場内にて、オリジナルアニメーション上映決定！

観覧料…一般 1000(800)円、高大生 700(500)円、小中生以下はとも美術館デイにつき無料
※(一)内は前売および20名以上の団体料金 ※心身に障がいのある方と付添者1名は無料
※前売券はチケットぴあ(サークルKサンクス、セブンイレブン等)「Eコード764214」、ローソンチケット「Eコード27219」、
青森県立美術館ミュージアムショップ他、県内プレイガイドなどにて 5月29日(土)より7月9日(金)まで販売。
前売り券でご入場いただいたお客様にはオリジナルグッズプレゼント！

2010年7月10日(土) - 8月29日(日)

開館時間 9:00-18:00 (入館は17:30まで) ※会期中無休

主催:「ロボットと美術」展青森実行委員会 [青森県立美術館、青森朝日放送、陸奥新報社]
後援:青森県教育委員会、NHK青森放送局、エフエム青森、青森ケーブルテレビ
助成:財団法人地域創造 協賛:静岡模型教材協同組合、株式会社タミヤ 協力:株式会社キャラアニ

お問合せ先:「ロボットと美術」展青森実行委員会(青森県立美術館内)
〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel 017 783 3000 www.aomori-museum.jp

イラスト:田中誠輝、寺岡賢司 / 彩色:福谷直樹 ©R&A / CA



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

ロボ美

美術、映像、漫画、アニメ、
そして
最先端のロボティクスをとおして探る、
日本のロボットイメージ

今日の日本では、産業や医療の現場から漫画・アニメ等のフィクションに至るまで、社会のあらゆる場面でロボットが重要な役割を果たしています。なかでも人の形をした「ヒューマノイド」は、美術をはじめとする諸芸術において身体表現と結びつき、独自の展開をとげてきました。本展は、ロボットと美術とのかかわりの歴史を紹介し、その文化史的意義を問うものです。

「ロボット」という言葉は1920年、チェコの文学者カレル・チャペックの戯曲『R.U.R.』において、初めて登場しました。その後、新しい芸術運動や科学技術と結びついたロボットは、20世紀初頭の文化を華やかに彩るスター的存在となります。ロボットは同時代の日本にも到来し、1924年には築地小劇場が『R.U.R.』を翻訳上演、1928年に開催された大正記念京都博覧会には《學天則》というロボットが出品されました。

戦後、ロボットは大衆文化において、なくてはならない存在となりました。ロボットをモチーフにした漫画やアニメは娯楽作品としてだけでなく、ヒューマニズムや、時に反体制的なテーマも扱う、深く重厚な物語にまで発展しました。そうしたロボットのイメージは、現代の様々な分野における研究者やクリエイターに大きな影響を与えています。

本展は、20世紀に生み出された「ロボット」をメインモチーフとしてとりあげるにより、科学技術と芸術、そして私たちの身体観の相互的な結びつきを明らかにしようとする試みです。



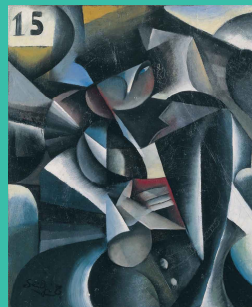
1



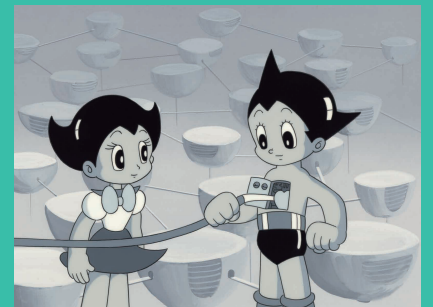
2



3



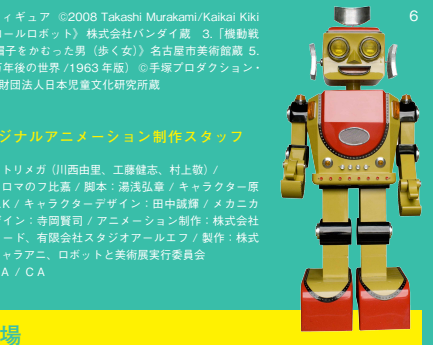
4



5



7



6

オリジナルアニメーション制作スタッフ

原作：トリメガ（川西由里、工藤健志、村上敬）/
監督：ロマのフ比嘉 / 脚本：湯浅弘章 / キャラクター原案：D.K / キャラクターデザイン：田中誠輝 / メカニカルデザイン：寺岡賢司 / アニメーション制作：株式会社アスリード、有限会社スタジオアルエフ / 制作：株式会社キャラアニ、ロボットと美術展実行委員会 ©R & A / CA

関連イベント

シンポジウム：「ロボットと美術」展とは何か

日時：7月10日（土） 14：00 - 15：30

パネリスト：川西由里（鳥根県立石見美術館主任学芸員）、村上敬（静岡県立美術館上席学芸員）、工藤健志（青森県立美術館学芸主幹）

会場：ワークショップA

聴講料：無料 ※事前申し込みは不要です。

横尾忠則記念講演会

日時：8月1日（日） 14：00 - 15：30（開場13：30）

講師：横尾忠則（美術家）

場所：シアター（定員200、当日先着順）

聴講料：無料 ※ただしロボット展のチケット（半券可）と、整理券が必要となります。整理券は、11：00よりシアター前にて配布いたします。

定員に達し次第、配布を終了いたします。

上田信記念講演会

日時：8月15日（日） 14：00 - 15：30（開場13：30）

講師：上田信（イラストレーター）

場所：シアター（定員200、当日先着順）

聴講料：無料

※事前申し込みは不要です。定員に達し次第入場を締め切ります。

ワークショップ：「夏休みわくわくロボット工作教室」

楽しく工作しながら、ロボットの体を動かす仕組みについて学ぼう

日時：2010年8月8日（日） 13：30 - 17：00

講師：野坂佳孝（十和田市立法典小学校教諭）

場所：ワークショップA

定員：30名

料金：無料

協賛：株式会社タミヤ

そのほかにも会期中にはたくさんのイベントが開催されます。詳しくはホームページをご覧ください。

お問合せ先

「ロボットと美術」展青森実行委員会（青森県立美術館内）

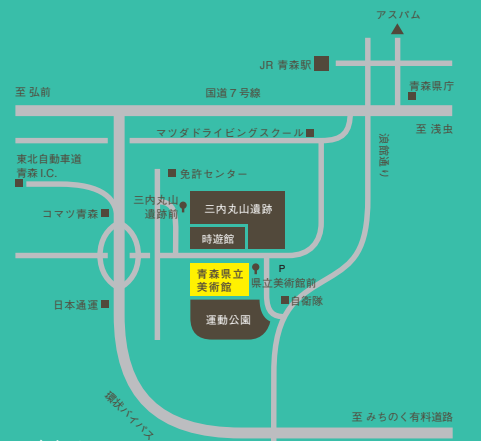
〒038-0021 青森市安田字近野185

Tel 017-783-3000 Fax 017-783-5244

www.aomori-museum.jp

E-mail bijutsukan@pref.aomori.lg.jp

会場



アクセス

JR 青森駅から車で20分。

青森空港から車で20分。

東北縦貫自動車道青森I.C. から車で5分。

青森市営バス青森駅前2番バス停から免許センター行き「県立美術館前」下車（所要時間約20分）